

## 追手門学院大学が開学 60 周年 記念シンポジウムの開催や新聞広告・特設サイトを展開

追手門学院大学（大阪府茨木市、学長：真銅正宏）は、2026年に開学60周年を迎え、周年を機に全国版読売新聞朝刊への周年広告掲載と特設サイトの開設を行いました。

また、開学60周年記念事業として、2026年9月9日に記念シンポジウムを開催します。周年を機に1966年の開学以来、現在は9学部3研究科を擁し、学生数1万人規模の総合大学へと発展してきた本学の歩みを振り返るとともに、未来社会に向けた大学の取り組みや抱負を発信します。



60周年を迎える追手門学院大学

### 【記事のポイント】

- 追手門学院大学が2026年に開学60周年を迎え、記念事業を実施
- 1966年の2学部体制から、9学部3研究科、学生数1万人規模の総合大学へ発展
- 5月29日に全国版読売新聞への広告掲載、9月9日に60周年記念シンポジウムを開催

追手門学院大学は1966年、経済学部と文学部の2学部で開学しました。その後、社会の変化や教育ニーズに対応しながら学部・研究科の拡充を進め、キャンパス整備や教育環境の充実を図ってきました。2026年には、文学部、国際学部、心理学部、社会学部、法学部、経済学部、経営学部、地域創造学部、理工学部の9学部と3研究科を擁し、学生数は1万人規模の総合大学へと発展を遂げました。

60周年を迎える本年は、記念事業として2026年9月9日に記念シンポジウムを開催します。シンポジウムのテーマは「60年目の追手門学院大学が示す『AIと共創する学び』」です。文系総合大学として歩んできた本学が、理工学部の開設を経て文理を越えた総合大学へと発展してきた経緯を踏まえ、AI時代を見据えた基調講演や新教育方針の紹介を行います。あわせて、新校舎が開設されたキャンパス見学会や来場者との交流会なども予定しています。

さらに、60周年を広く周知するため、本学の卒業生団体である将軍山会と協働し、5月29日に全国版読売新聞朝刊へ周年広告を掲載するとともに、60周年特設サイトも開設しました。

日本で初めて大学公式アプリに搭載された多機能型AIアドバイザー「OIDAI+」<sup>\*</sup>をはじめ、教育DXの推進や文理を越えた教育の展開を進め、今後は総合大学として教育・研究活動の充実を図っていきます。

### ■ 追手門学院大学 60周年特設サイト

<https://www.otemon.ac.jp/60th>

<sup>\*</sup>履修、資格取得、留学、就職活動、課外活動の5つの活動に対してのAI提供を指す

国内主要大学の公式アプリを対象にした調査に基づく2026年4月時点 ステラアソシエ株式会社調べ

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課

TEL：072-665-9166 西村・織田